



丹後地域 第25号

リハビリ通信

～うさぎのブランコ～

編集/発行
丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院内)
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷 158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302
e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com
<http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

ホームページよりPDF形式でご覧いただくことができます

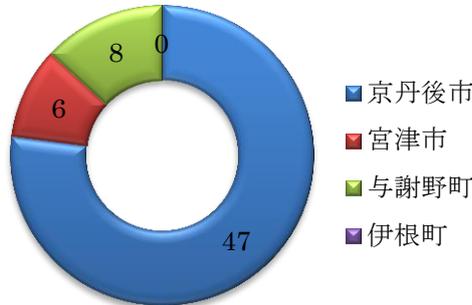
平成28年度事業報告

H29.3.30 現在

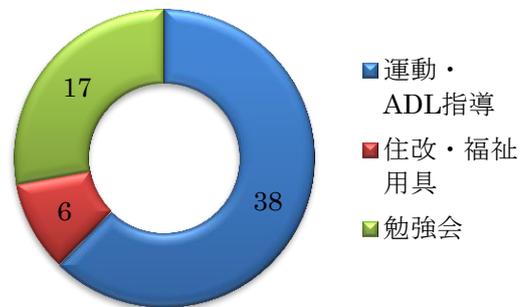
訪問相談事業

61件

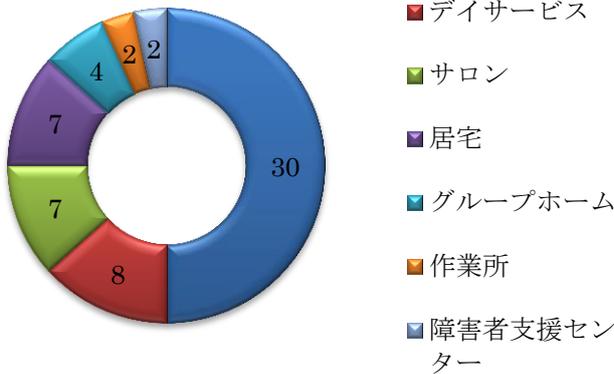
依頼地域別件数



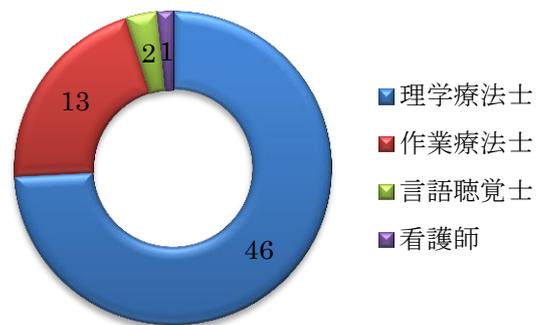
相談内容別件数



相談事業所別件数



対応職種別件数



地域包括支援センター等に対する助言・相談

43件

各市町の地域ケア会議に参加し、現状や課題の把握、リハビリテーション支援センター事業やリハビリについて啓発を行いました。

情報提供

- 広報誌 うさぎのブランコ 22号(5月)、23号(9月)、24号(1月)、25号(3月)発行
- ホームページの更新

事例検討会

- 第 1 回 「高齢者の肺炎を予防しよう」 平成 28 年 6 月 24 日(金)開催 参加者:40 名
- 第 2 回 「わくわく、ドキドキを見つけよう～障害分野のリハビリテーションと連携を考える～」
平成 28 年 8 月 5 日(金)開催 参加者:24 名
- 第 3 回 「神経難病のリハビリテーション」 平成 28 年 9 月 24 日(土)開催 参加者:31 名
- 第 4 回 「どんなリハビリを選べばよいの?～居宅・在宅系リハサービスの現状と課題～」
平成 29 年 3 月 2 日(木)開催 参加者:29 名

研修会

- 看護職・介護職ステップアップ研修「日常業務にプラスαのリハビリを」
第 3 金曜日(6 月～1 月) 計 8 回開催 参加者:延べ 470 名
- 地域包括ケア実践交流会 お気軽サミット in 丹後
平成 28 年 12 月 7 日(水)開催 参加者:250 名

皆様のご協力のもと平成 28 年度すべての事業を終了することができました。ありがとうございました。

施設たずね歩き

丹後地域の施設を順に紹介します。

今回は天橋の郷通所介護事業所サテライト「Re-style」をご紹介します。

Re-style は、昨年の 9 月 5 日に OPEN しました。とても明るいおしゃれでカフェのような空間です。利用者さんは『歩けるようになりたい!』『楽に立ち上がりができるようになりたい!』という思いをかなえるためにここへ来るのを楽しみにされています。



<Re-style の仕組み>

午前	午後	月曜～金曜 ※祝日も要義
9:15	13:45	
バイタルチェック	ウォームアップ	
	レジスタンス運動	定員(2単位制)
	パワリハ	午前 15名
	カフェタイム	午後 15名
	コグニサイズ	通所対応エリア
12:15	16:45	田原、美山、宮本、上野原、大野、高津
	クールダウン	



↑ポールウォーキング

↑マシーントレーニング
弱い負荷で実施するので安心です。不活動筋を使い有酸素運動を行います。個人データを管理し、1ヶ月の訓練の成果を見ることができます。



私たちが、利用者さんの「できる力」を引き出して、やさしくサポートします!

住所: 〒626-0041
宮津市鶴賀 2061-16

お問い合わせ:

TEL 0772-45-1161
FAX 0772-45-1171

看護職・介護職ステップアップ研修 開催の報告

今年度も「日常業務にプラスαのリハビリを」というテーマで毎月 1 回、計 8 回の研修をおこないました。

第 4 回「食べること」

平成 28 年 9 月 16 日(金)開催

講師:芝 修 氏

(介護老人保健施設 リハ・ヴィラなぎさ苑 言語聴覚士)

56 名の方にご参加いただきました。

調理のコツ、食事姿勢、介助方法、口腔ケアや嚥下体操について講義をして頂きました。



第 5 回「お風呂と着替え」

平成 28 年 10 月 21 日(金)開催

講師:小北 典子 氏

(公益財団法人 丹後中央病院 作業療法士)

51 名の方にご参加いただきました。

片麻痺の方を例にあげ、入浴方法、衣服の着脱について実技を交えて講義をして頂きました。



第 6 回「コミュニケーション」

平成 28 年 11 月 18 日(金)開催

講師:笠井 幸子 氏

(京都府立医科大学附属北部医療センター 言語聴覚士)

60 名の方にご参加いただきました。

失語症を中心にコミュニケーション方法について講義をして頂きました。

第 7 回「レクリエーション」

平成 28 年 12 月 16 日(金)開催

講師:松本 泰子 氏

(いわさく診療所訪問リハビリ 理学療法士)

直田 久美子 氏

(デイサービス芳寿館 理学療法士)

46 名の方にご参加いただきました。

動画を用いて講義をして頂いた後、参加者でレクリエーションを考えるグループワークを行いました。

第 8 回「住環境と福祉用具」

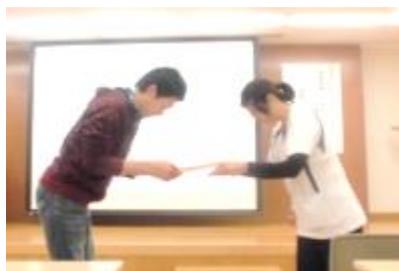
平成 29 年 1 月 20 日(金)開催

講師:小西 隆博 氏

(与謝野町立国民健康保険診療所 理学療法士)

44 名の方にご参加いただきました。

介護保険や住環境と福祉用具について実技を交えて講義をして頂きました。



全 8 回の研修すべてを受講された 15 名の方に、修了証を授与しました。

第 4 回 事例検討会開催の報告

丹後圏域においても居宅・在宅系のリハビリテーションサービスが増えてきました。様々な種類のリハサービスの中で、より適したものを選ぶことが必要になってくると考え、今回の事例検討会を企画しました。

実践報告では、それぞれのリハビリの特徴や事業所での取り組みなどを報告していただきました。グループワークでは、架空の症例に対して、年齢や性別、疾患などの条件をかえながら、それぞれの条件の症例に対してどのようなリハビリサービスが適しているかについて検討を行いました。

介護支援専門員やセラピスト、行政職員、介護職員などを中心に 29 名の方にご参加いただきました。

テーマ「どんなリハビリを選べばよいの?～居宅・在宅系リハサービスの現状と課題～」

日時:平成 29 年 3 月 2 日(木) 13:00～16:30

実践報告

○外来リハビリテーションより

報告者:坂根 勇輝 氏

(公益財団法人 丹後中央病院 作業療法士)

○通所リハビリテーションより

報告者:小崎 章弘 氏(京丹後市やさか老人保健施設 ふくじゅ 理学療法士)

○訪問リハビリテーションより

報告者:曾根 佳子 氏

(公益社団法人 京都府看護協会 宮津訪問看護ステーション 理学療法士)

○リハビリ特化型デイサービスより

報告者:井手 直毅 氏(有限会社メディカルケアタカオカ あるけるデイ・ユメライフ)

グループワーク 「どんなリハビリを選べばよいの?」



外来リハ

外来リハビリテーションは、多面的にアプローチを行い、その人らしさを取り戻すこと。平成 28 年度診療報酬改定において、介護保険への移行が推進されており、介護保険対象外の方を対象となることが多くなっている。

訪問リハ

看護師と情報共有を積極的に行っている。生活力を改善する視点をもった関わりを大切にしている。限られた資源や様々な環境の中で対応していけるように工夫を提案したい。また多職種、他事業所との連携も大事にしたい。

居宅・在宅系
リハサービス
実践報告より

デイケア

セラピストは 3 名で入所・通所を兼務。様々な利用者に対応出来るように福祉用具も多くそろえている。自立支援、主体性は大事にしたいが、リスク管理のアセスメントも必要。どちらも大切な視点であり日々悩みながら関わっている。自立を目指す利用者に対応していきたい。

リハ特化型デイ

午前、午後各 15 名を定員として、地域密着型通所介護を行っている。評価指標を用いて、対象者の ADL を評価し、リハビリを実施している。リハビリには様々な器具を活用。事業所自体もまだまだ新しい。新規の利用者について相談対応していきたい。